

枚方市と枚方市職員関係労働組合現業評議会との団体交渉の要旨

1. 日 時 令和3年(2021年)10月21日(木) 午後6時30分～午後7時15分
2. 場 所 枚方市役所 塔屋会議室
3. 出席者 組合側：議長以下8名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、書記(人事課課長代理、職員課課長代理)
4. 課 題 「要求書」に基づく交渉

<交渉内容要旨>

I. 労働協約の遵守について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 技能労務職員の勤務労働条件等の変更については、労働協約を遵守すること。また、諸課題への対応については、十分な協議を行うなど、一方的な変更は行わないことを改めて確認したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働協約は、労使双方の確認事項であり、これまで同様、遵守する立場に変わりはない。また、諸課題への対応についても、これまでの経緯を踏まえ、労使合意を基本とする。

II. 技能労務職員の採用について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度、調理員は採用されたが、作業員については引き続き採用されなかった。技術の継承や職員のモチベーション維持の観点からも、採用は必要不可欠であるが、現業職の今後の採用について見解を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現業職については、将来の職のあり方や各職場における見直しの取り組みを踏まえ、今年度は募集を行わなかった。引き続き、退職や欠員状況など各職場の状況等を精査し、判断していく。

III. 会計年度任用職員制度について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計年度任用職員の中でも、特に勤務成績が良好な者については、正職員へ転換できるような制度を構築すべきと考えるが、見解を確認したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在職する会計年度任用職員について、試験を経ずに正職員へ転換することは、法制度上不可能である。しかし、昨年度から採用試験の年齢上限を撤廃したところである。

IV. 職員のモチベーション向上について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現業職員は、市民の最前線で、市民サービス向上に向けて取り組んでいるが、現状は、将来に対する希望や意欲などモチベーション向上が図りづらい職場環境になっている。このような状況に対して当局の考えを聞く。 ・ 近年、現業職員の昇任・昇格が少ないのではないかと。職員のモチベーションにもつながるため、日々の頑張りをしっかり評価していただきたい。 ・ 現業職員の給与等処遇について、どう考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員のモチベーション向上が、ひいては市民サービスの向上にもつながることから、引き続き、各職場における意見を必要に応じ集約するなど取り組んでいきたい。 ・ 昇任・昇格にあたっては、引き続き、適正に取り組んでいく。 ・ 平成30年4月より、基礎自治体における技能労務職員の職務・職責に応じた本市独自のメリハリの利いた給料表を構築したところである。

V. ジョブローテーションについて

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ ジョブローテーションについては、本人意向も十分考慮した上で実施してほしいと考えるが見解を聞く。 ・ 人員が不足している調理員の確保に向けて、現業間の転用制度の実施を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事異動については、画一的に行うのではなく、各職場の状況や本人意向等も一定考慮しつつ、柔軟に運用を進めていく。 ・ 調理員の職種間転用については、過去に実施していた経過もあることから、意欲ある職員が転用により活躍することのできる制度整備について、検討を進める。

VI. 労働安全について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 炎天下での作業に携わる学校校務員に対する空調服の貸与を検討すべきと考えるが、見解を聞く。	<ul style="list-style-type: none">・ 職員の健康管理の観点から、熱中症対策は必要と考えている。炎天下で作業を行うような他の職種の状態も踏まえながら、まずは他市状況等の調査研究を行う。

VII. 定年延長について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 定年延長については、職員の働く意欲にもつながるものである。現時点で示せる内容はあるか。	<ul style="list-style-type: none">・ 今後も、引き続き国等の動きを注視しながら制度構築していく。